

2007年度 日本気象学会東北支部気象研究会次第

日時：平成19年11月22日（木）13時00分～17時20分

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

12:50～13:00 資料セッティング

13:00～ 開会 <中村 謙（仙台管区気象台）>

13:05～ 連絡事項 <事務局>
講演時間（発表持ち時間）：講演15分+質疑応答5分
第1予鈴：13分 終鈴：15分

13:10～15:10 第1部 <座長 松本逸平（仙台管区気象台）>

13:10～13:30 台風の発達過程に対する雲物理過程の影響
○沢田雅洋・岩崎俊樹（東北大院理）

13:30～13:50 宮城県における冬季筋状雲による降雪発生メカニズム
○佐藤拓也・余 偉明・岩崎俊樹（東北大院理）

13:50～14:10 新庄における近年の冬期降水中の固体粒子の変動傾向
○阿部 修（雪氷防災研究センター新庄支所）、柳澤文孝・伊吹 円（山形大学理学部）

14:10～14:30 北日本に豪雪をもたらす北半球の大気循環
○カ石國男・岩井佑樹（弘前大学大学院 理工学部）

14:30～14:50 新潟県沿岸部の降雪に対する佐渡島の地形効果
○カ石國男・北村卓也（弘前大学大学院理工学研究科）

14:50～15:10 北半球の積雪の早期融雪傾向
○小濱里沙・カ石國男（弘前大学大学院）

15:10～15:20 休憩

15:20～17:20 第2部 <座長 岩崎俊樹（東北大学）>

15:20～15:40 気象予測データを用いた「いもち病発生予察プログラム-BLASTAM」について
○菅野洋光・小林 隆・神田英司（東北農業研究センター）
岡村晴美・田口晶彦（日本気象協会）、Prima Oky Dicky・南野謙一（岩手県立大学）

15:40～16:00 RAMS（領域大気モデル）を用いたSACZ（南大西洋収束帯）の形成要因の研究
○佐川智孝・児玉安正（弘前大学大学院理工学研究科）

16:00～16:20 RAMS（領域大気モデル）を用いた冬季青森県における山越え気流の研究
○片岡洋介・児玉安正（弘前大学大学院理工学研究科）

16:20~16:40 TRMM(熱帯降雨観測衛星)データを用いた暖かい雨の広域分布の研究
○児玉安正(弘前大・理工), 勝俣昌己・森 修一 (JAMSTEC), 佐藤晋介(NICT)
廣瀬祐城・植田宏昭(筑波大・生命環境科学)

16:40~17:00 X-Band Radar による 2006 年梅雨観測
渡辺 明(福島大学・理工)

17:00~17:20 気圧データが利用者を与える疑義について
村田一則(新潟地方気象台)

17:20 閉会 <中村 謙 (仙台管区気象台) >